

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	67 68	男性入居者様が多いが、日常生活での仕事や役割が少ない。それによって日中を居室で過ごされることが多い。	男性入居者様も夫々の特性を活かした役割を持ち、日中を生き生きと過ごすことが出来る。	・プランターに野菜を栽培し、管理を共に行う。 ・果樹を鉢植えて栽培し、管理を共に行う。 ・玄関周りの掃除や、草取りを共に行う。 ・共同作品を全員で作成し、公民館やふれあいセンターに展示してもらう。	1～10ヶ月
2	64 65	事業所住所地の町内や近隣との交流はあるが、他の京山学区内でのホームの周知や交流が出来ていない。	京山学区内での交流が図れ、入居者様が出かけたり、学区内の方がホームに訪れる機会を増やす。	・学区の民生委員会に出席し情報を発信する。 ・学区内の幼稚園、保育園、小学校、中学校に出向き、情報発信、交流の取り組みを行う。 ・広報誌を定期的に発行する。	12ヶ月
3	63	入居者様の事故やヒヤリ・ハット事例や、行事の反省や次回への改善点、運営推進会議や家族会での意見や提案等を職員間では周知しているが、全家族に報告出来ていない。	全家族にホーム内での出来事や、様々な会の報告を周知する。ホームの運営を知ってもらうことで、信頼関係を強める。	・家族通信に1か月間の、ヒヤリ・ハット、事故事例への取り組みを伝える。 ・わらく通信で運営改善への取り組みや、運営推進会議や家族会での意見、提案等を全家族に発信する。 ・家族に行事の準備や日々の取り組みに参加してもらう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。